

エデンロマンチカ



びい  
boys × boys

DOJIN  
R18  
成人向け

19歳未満の  
購入・閲覧禁止



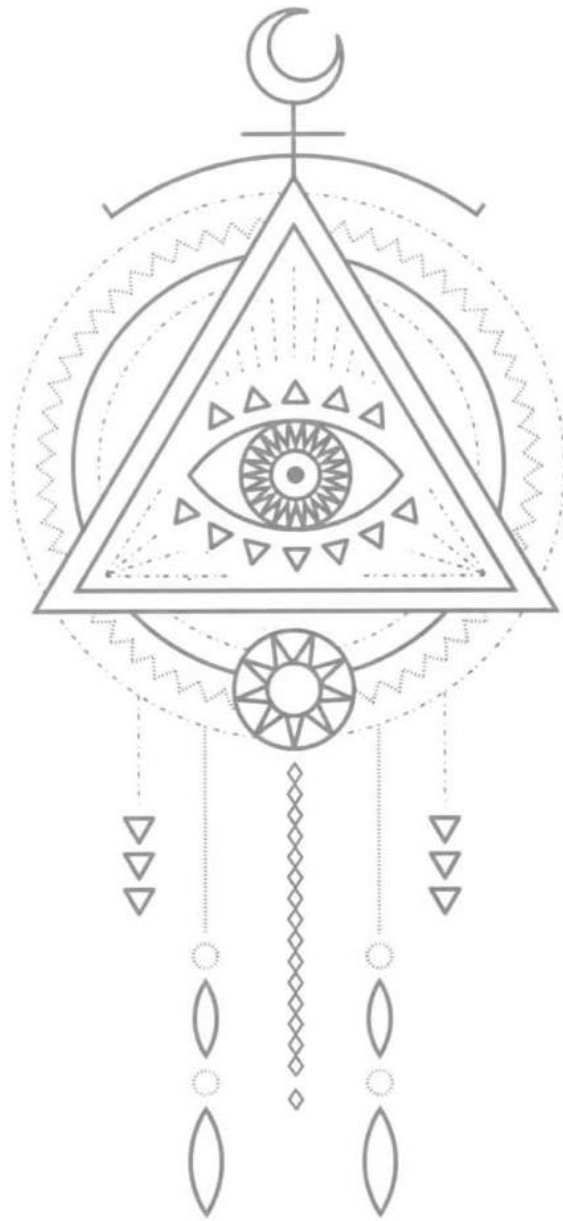
※利き腕と鎧を失い、戦士として衰えたカルナと  
カルナを殺せなかったアルジュナの生存ifです。

※二人の死別は変わりません。

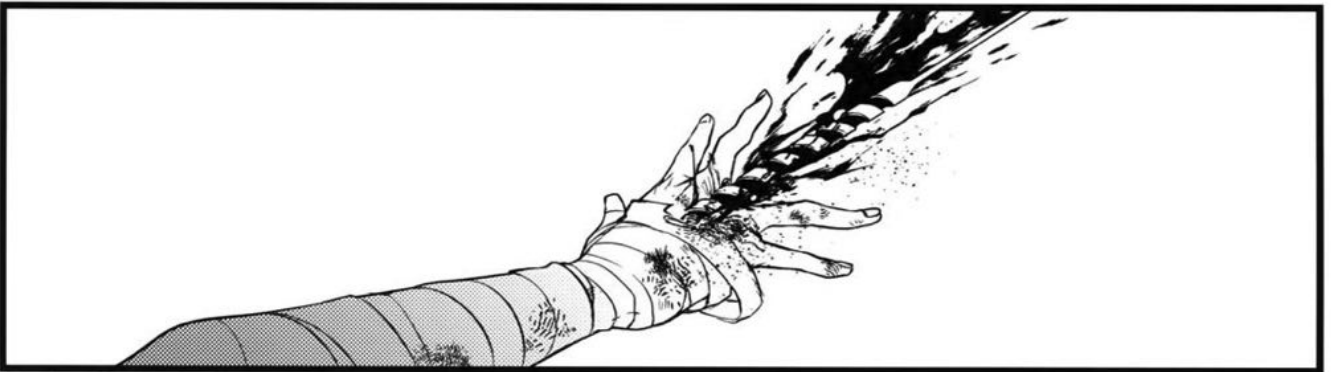
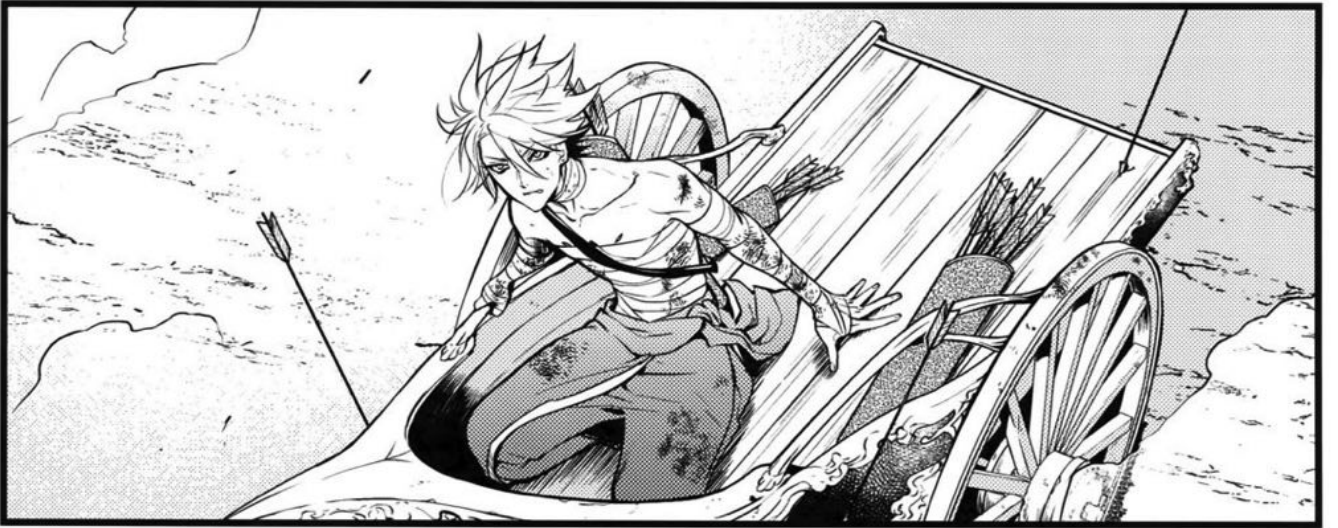
※※※

原典にこだわりのある方

死別ネタが苦手な方はご遠慮ください。



ひよったアルジュナと戦士のカルナのすれ違い…というか、生き様というか。  
勝者と敗者の差というか、そういう噛みあわない二人が描きたくて発行しました。  
カルナにとってはハッピーエンドでアルジュナにとってはバッドエンドかな。



万歳!



万歳!

万歳!

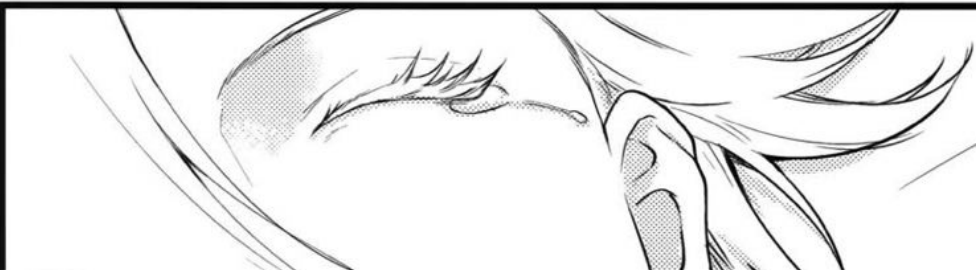
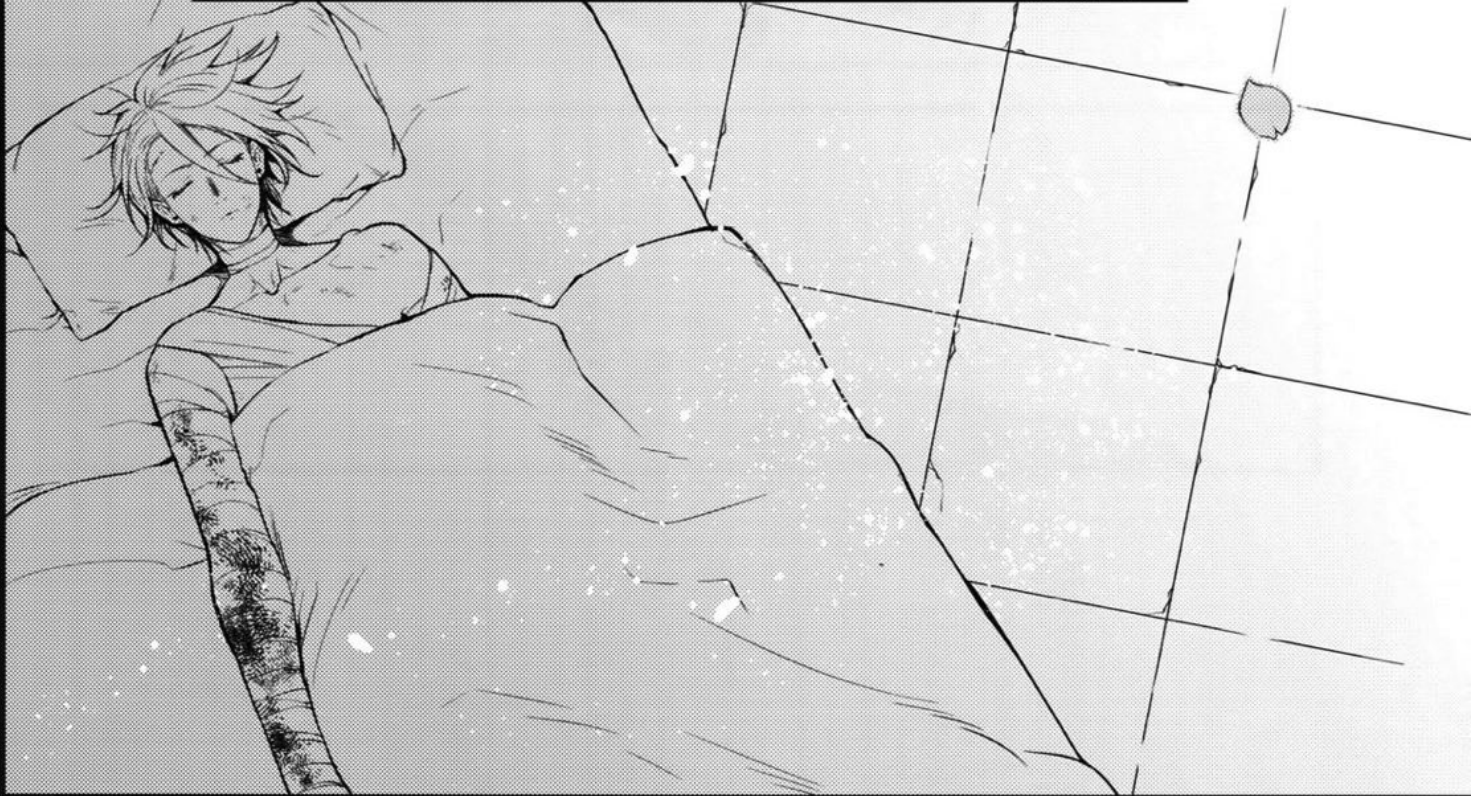
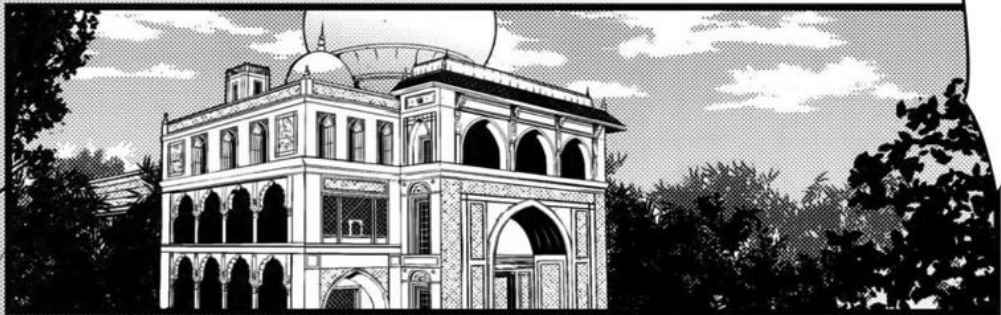
ドウルーヨダナの  
首だ!!

あれを見ろっ

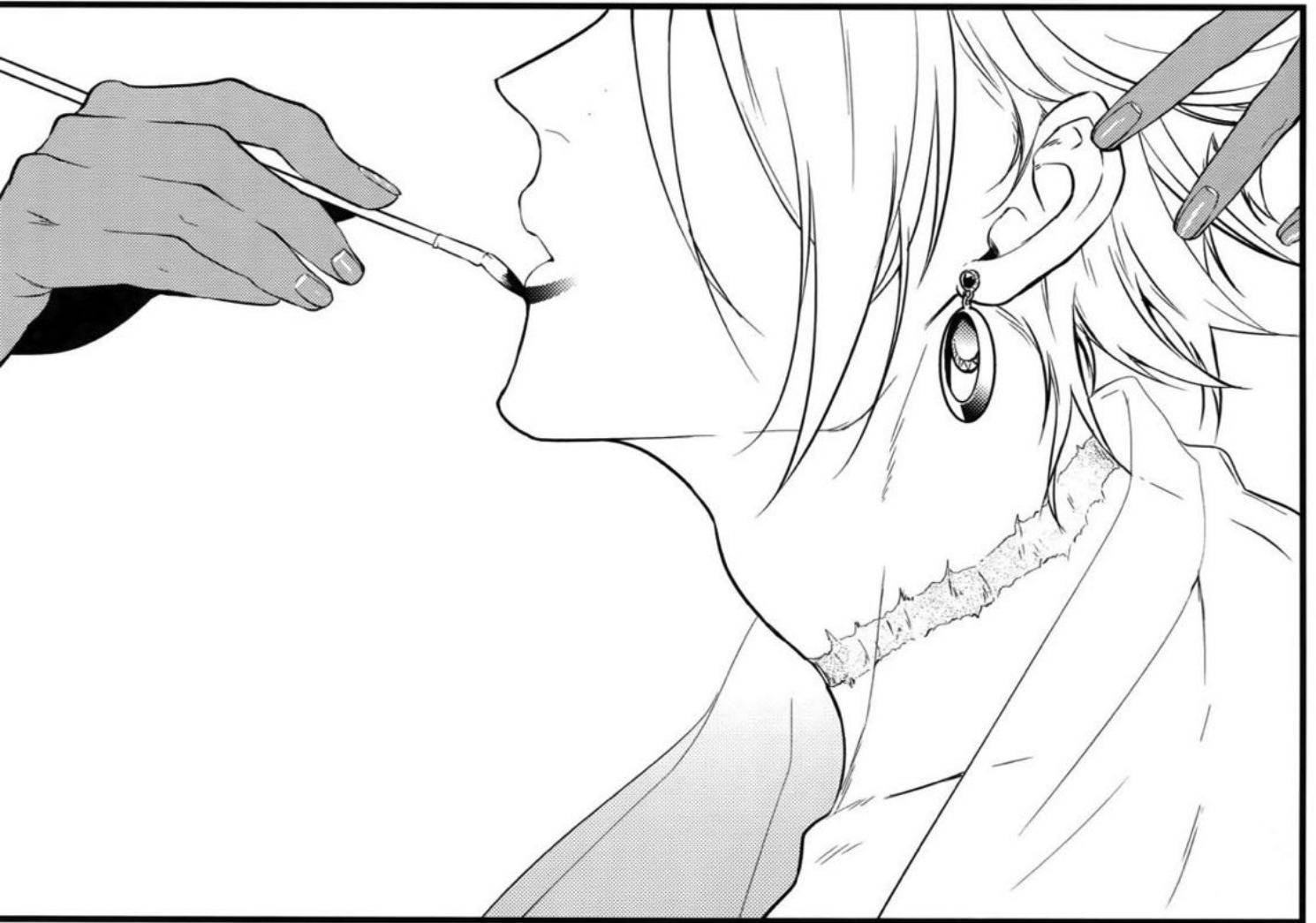
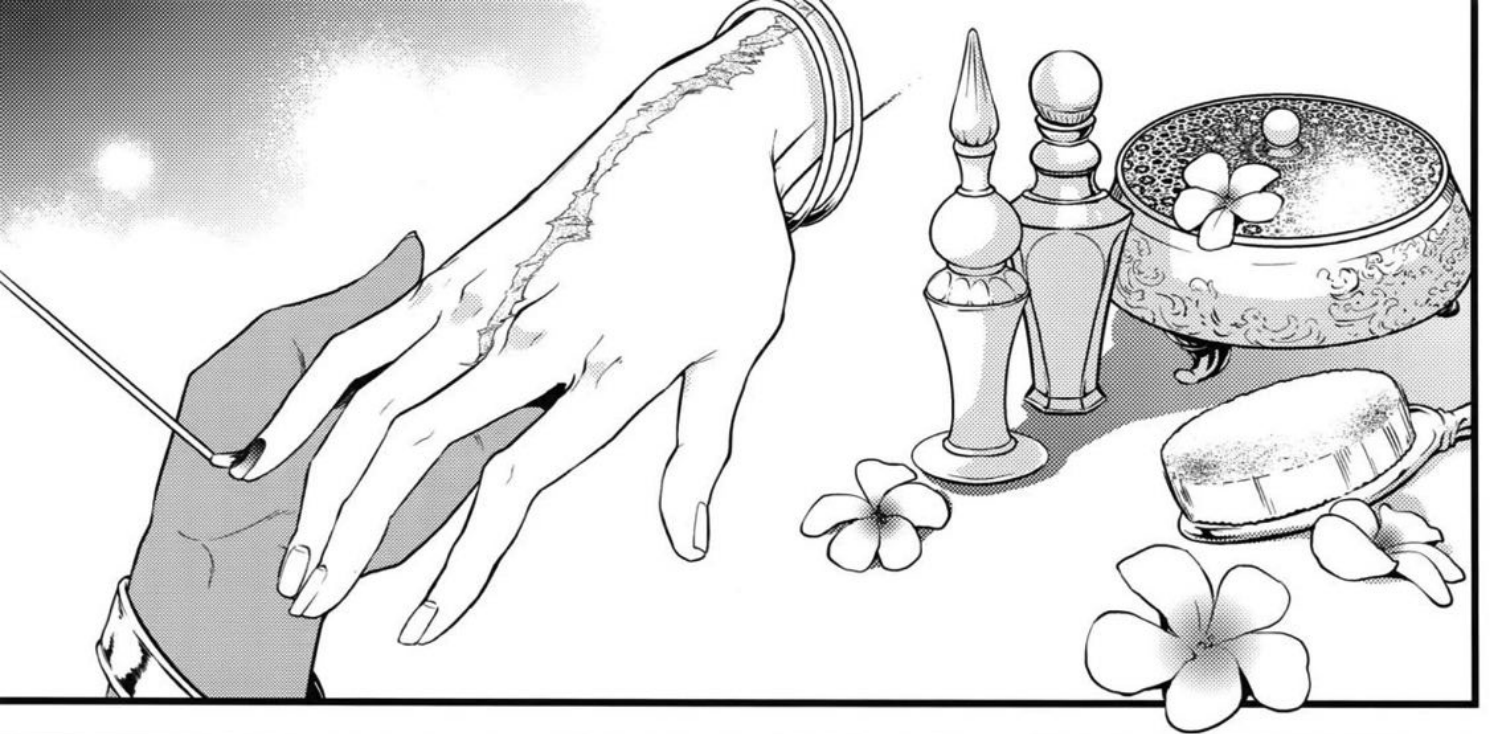
パインダヴァの勝利だ!



万歳!!















アルジュナよ



なあ

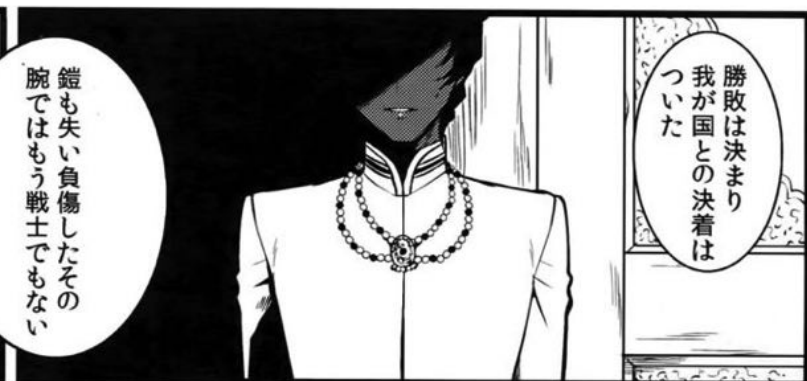


俺のような男を着飾って  
楽しいと思えんが…

それに此処は奴隷を  
飼うには過ぎた檻だ



もはや貴様の命に  
価値などない



勝敗は決まり  
我が国との決着は  
ついた

鎧も失い負傷したその  
腕ではもう戦士でもない

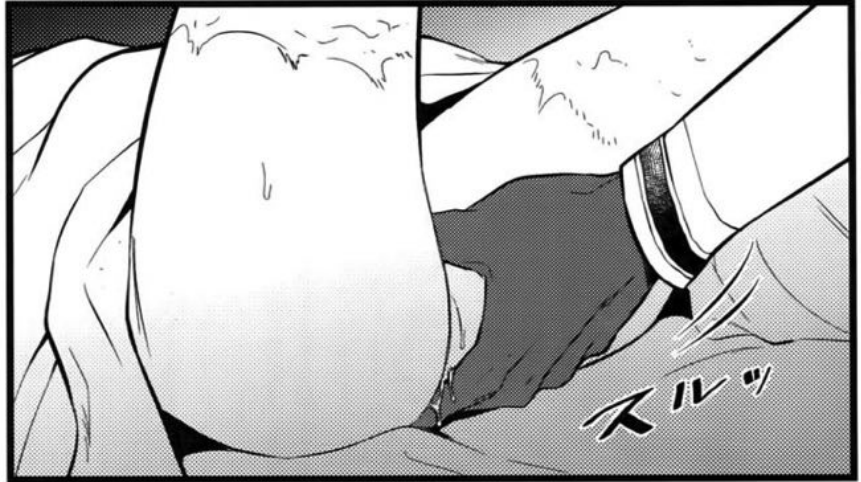


虚言を弄するな



ただ太陽神の愛し子という  
肉体に価値はあるがな













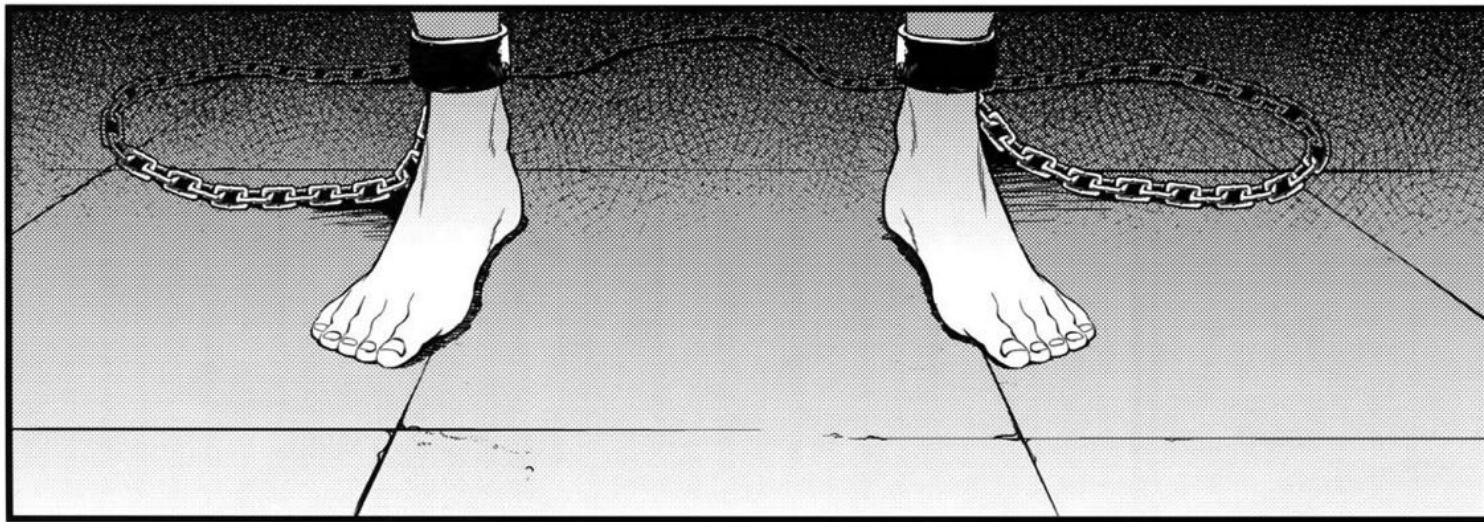
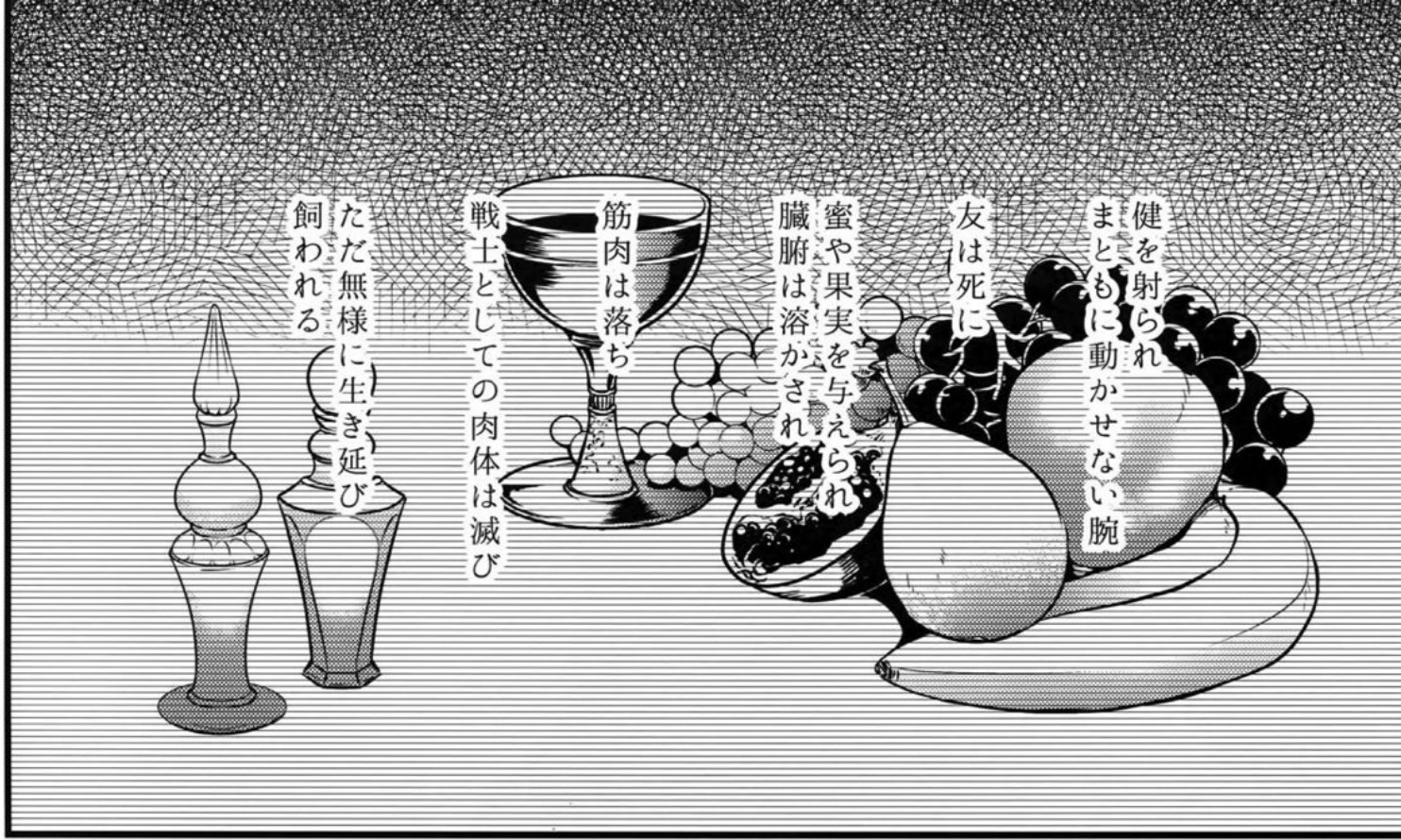
尻穴で快感を拾うか  
あさましい事だ



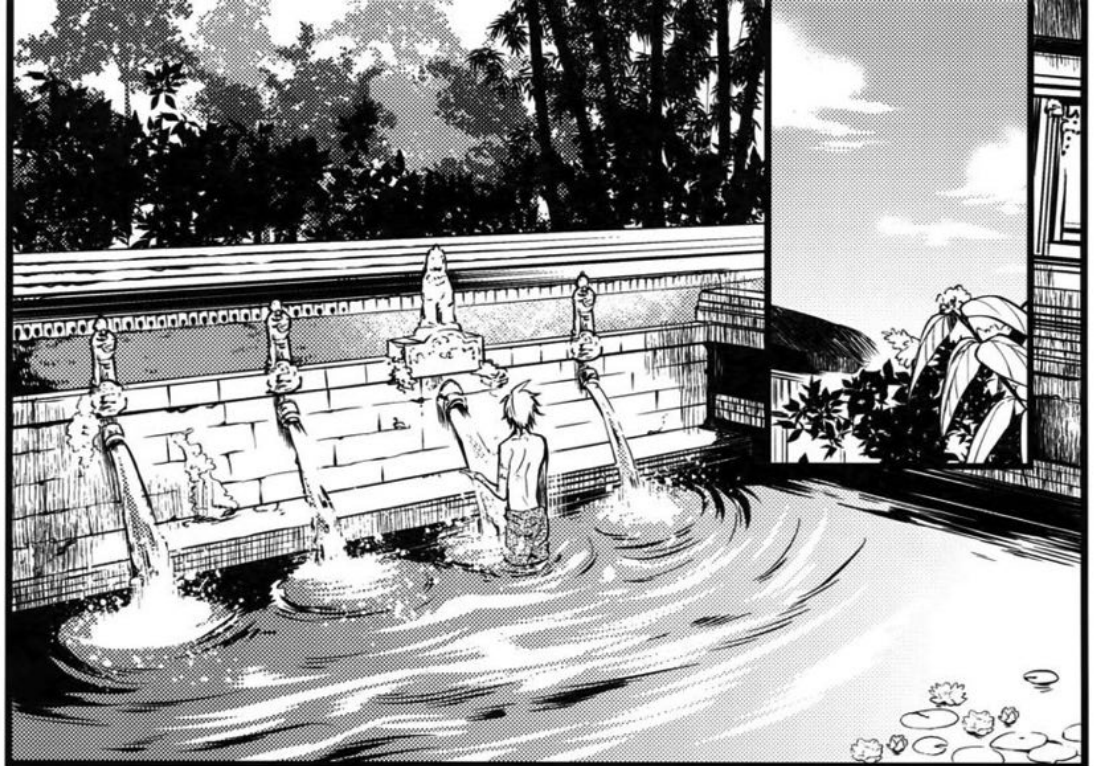












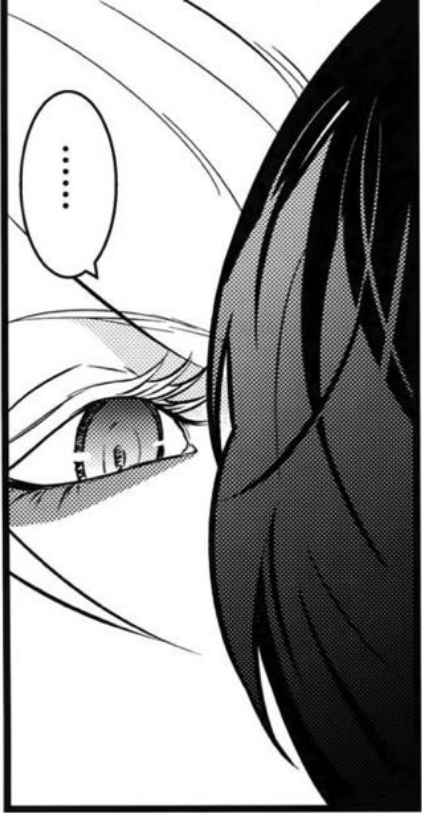


















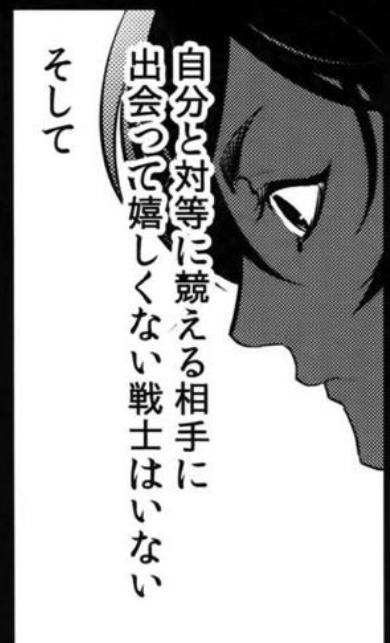
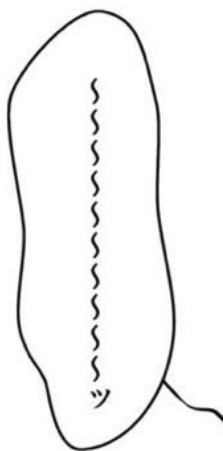


憎んでもいない目で

憐みでも



初めてカルナと  
口付けをした



自分と対等に競える相手に  
出会って嬉しくない戦士はいない  
そして



カルナは強かった



初めて見たあの日から

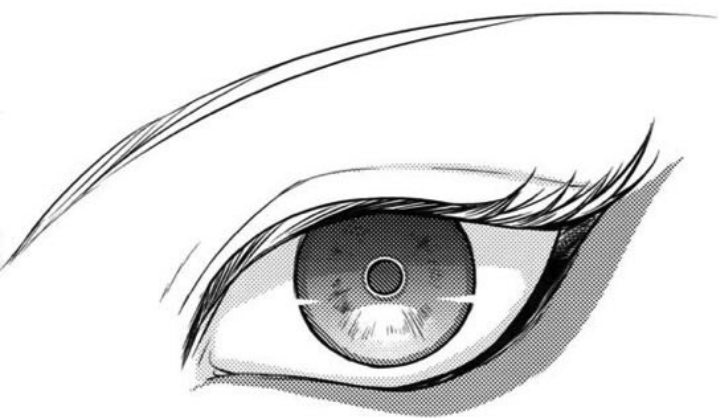
ずっと欲しかった

びんぎゃん。





美しかった



あの目で  
宿敵と認められる  
恍惚と畏怖

初めてだ



自分から欲しいと  
執着したのは





あの時  
首を射れば勝てると思った  
けれど永遠に失う

それは嫌だった

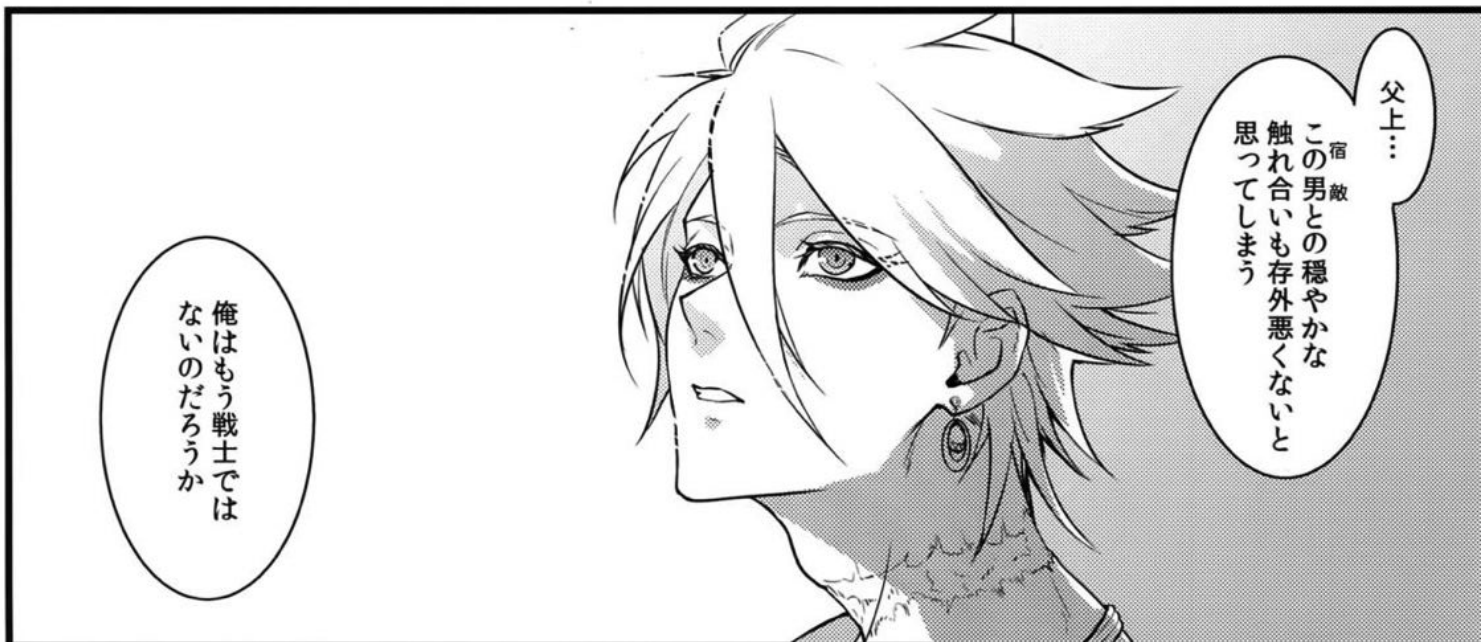
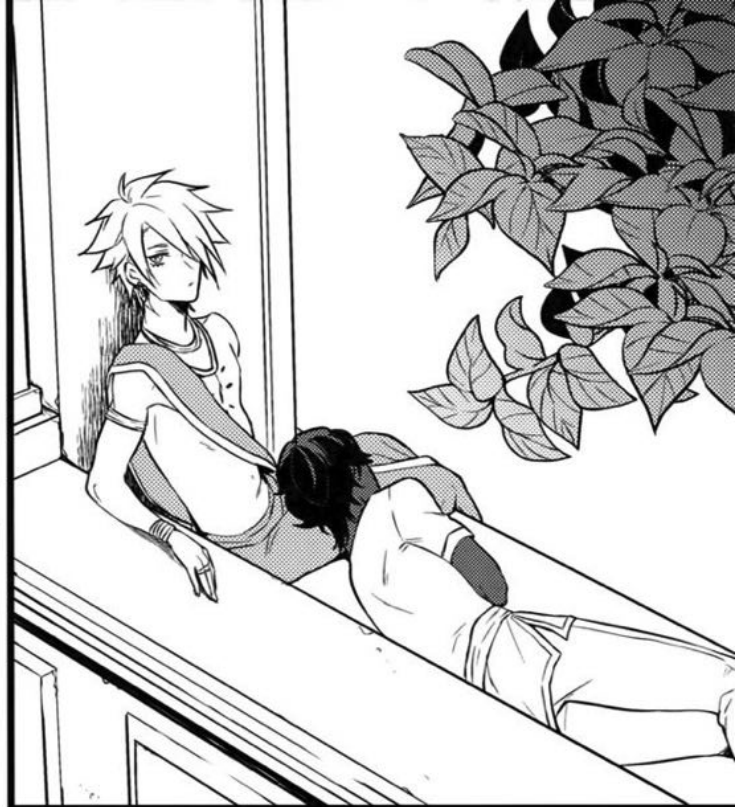
カルナは授けられたんじゃない



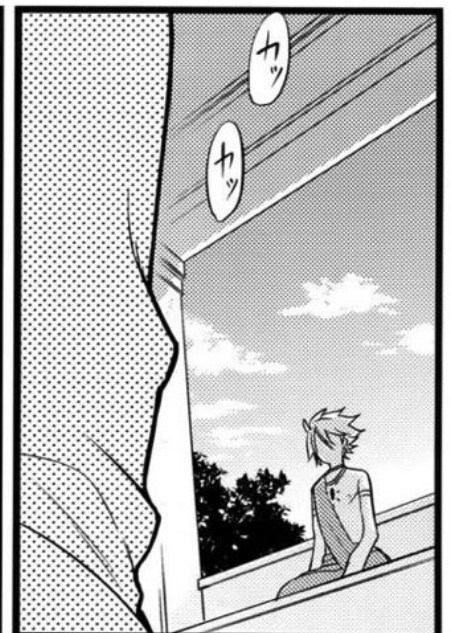
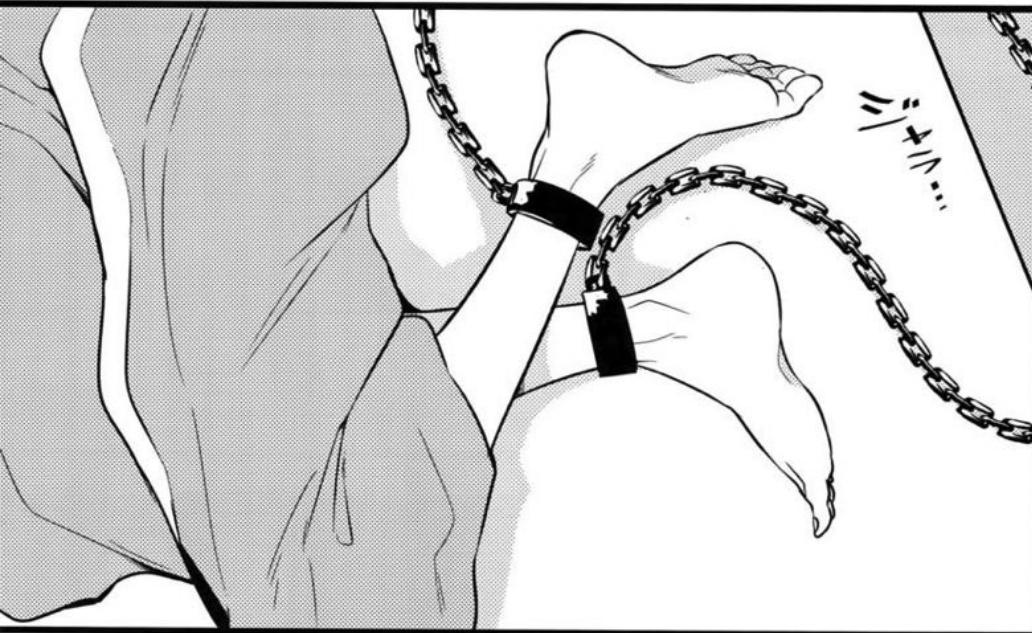
俺が選<sup>び</sup>獲<sup>つ</sup>た



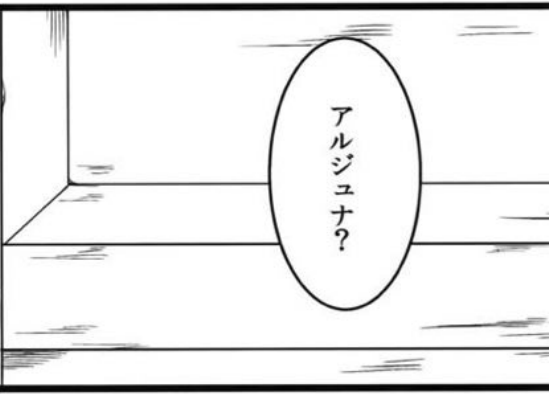
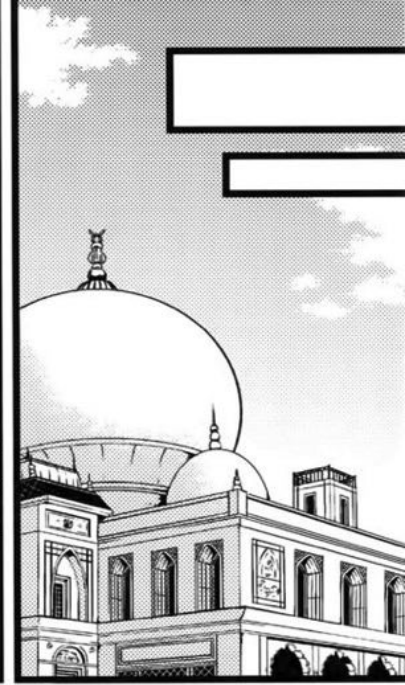
















迎える者がいるだろう

貴様こんな所にきて  
いる場合か



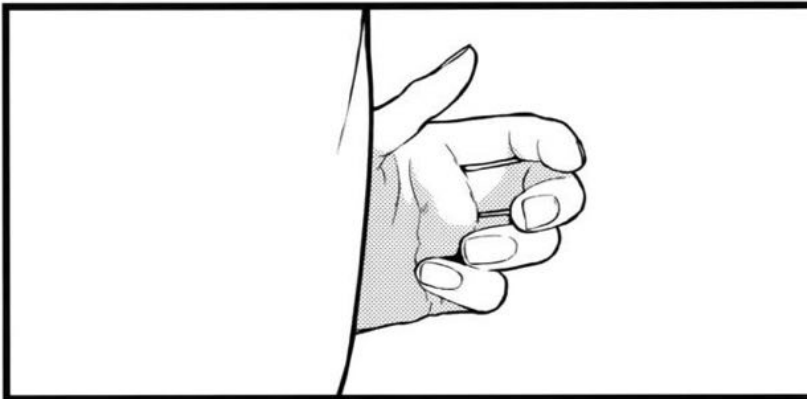
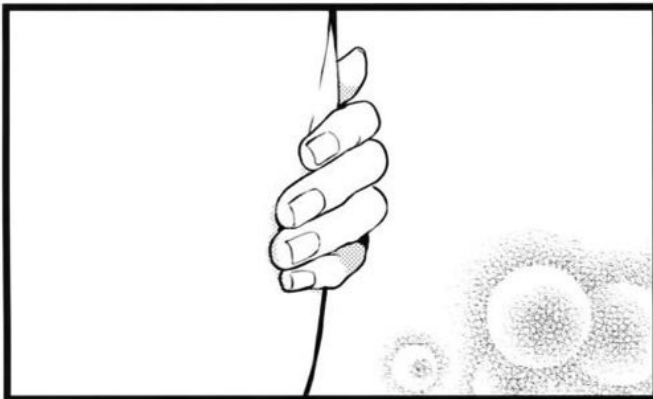
ずいぶん臍抜けたものだな



会いたかった！  
会いたくて気が狂いそうだ



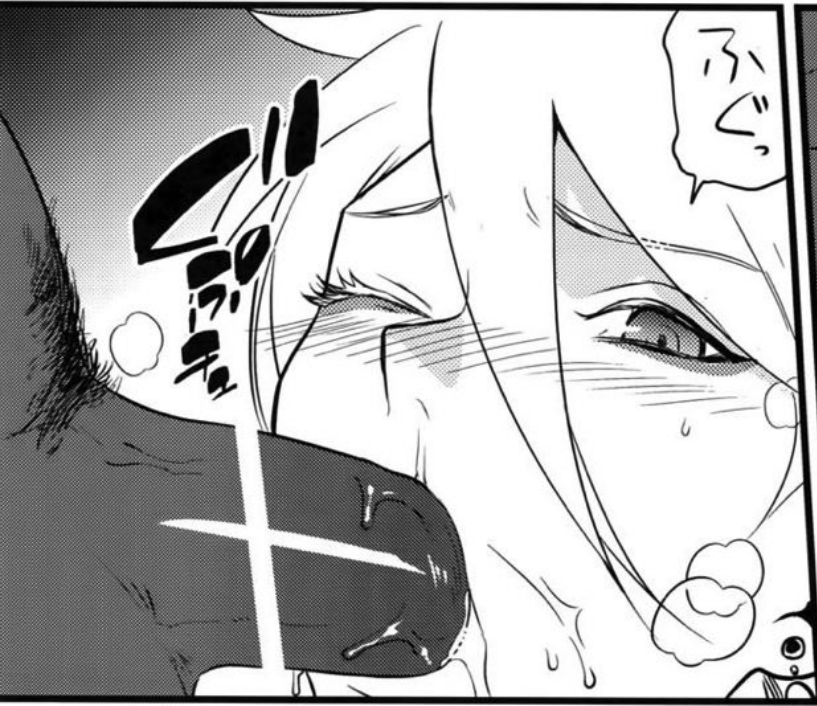
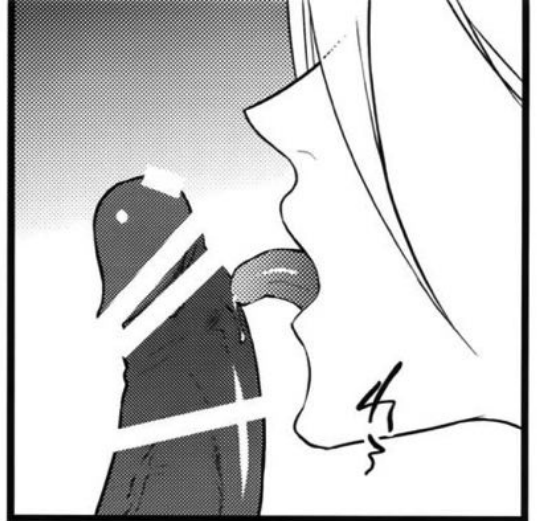
それに悪い気がしない俺もか



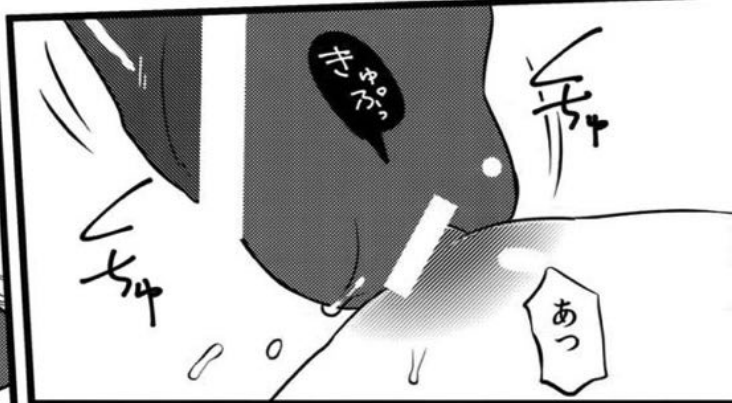
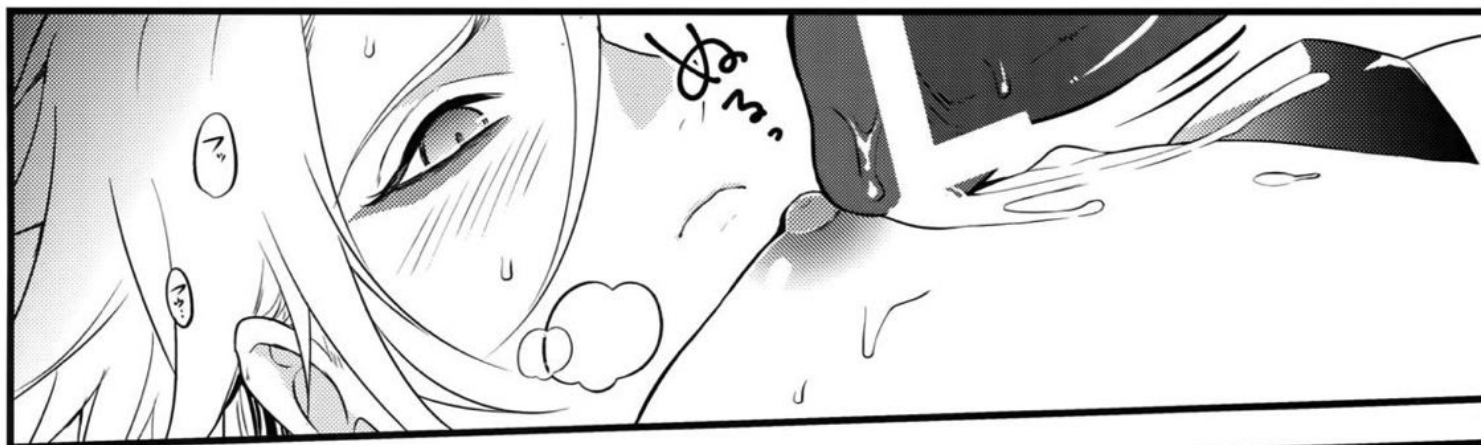
ん…  
身も清めずに来たのか  
お前らしくもない















大丈夫だ  
言いつけ通り  
慣らしてある

存分に使ってくれ

ビキ  
ビキ  
ビキ



血生臭さと埃くさい戦場の匂い

カルナツ

あっ

アルジロナの汗の匂い









私のカルナ

































共に並ぶより  
一瞬の熱を





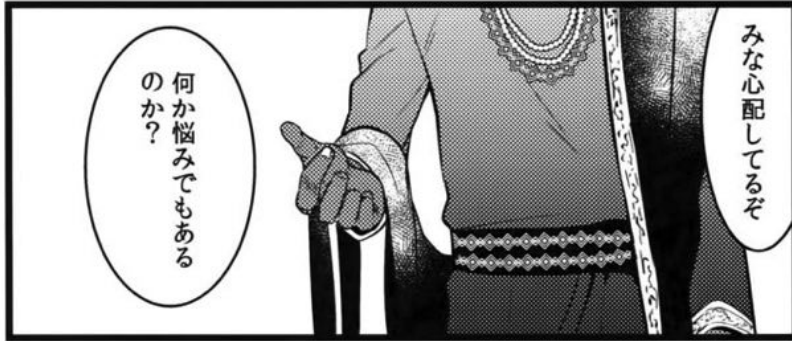


お前：  
さいきん家に寄り付いて  
いないそうだな  
執務中も気がそぞろの  
ようだし

どうしました  
兄さん



アルジュナ



みな心配してるぞ

何か悩みでもある  
のか？



…すみません  
この所忙しかったので…  
以後気を付けます

いや、そうだな  
お前は励みすぎる所がある  
休んだほうが良いな

私こそ  
責めてすまなかった

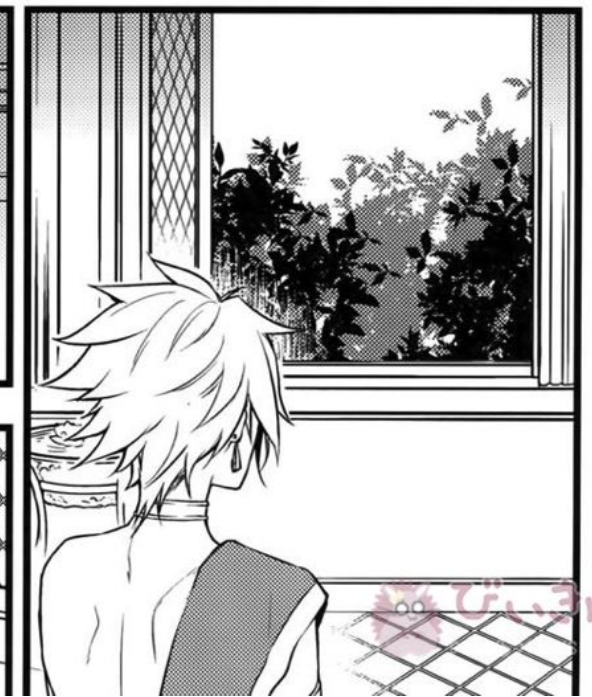
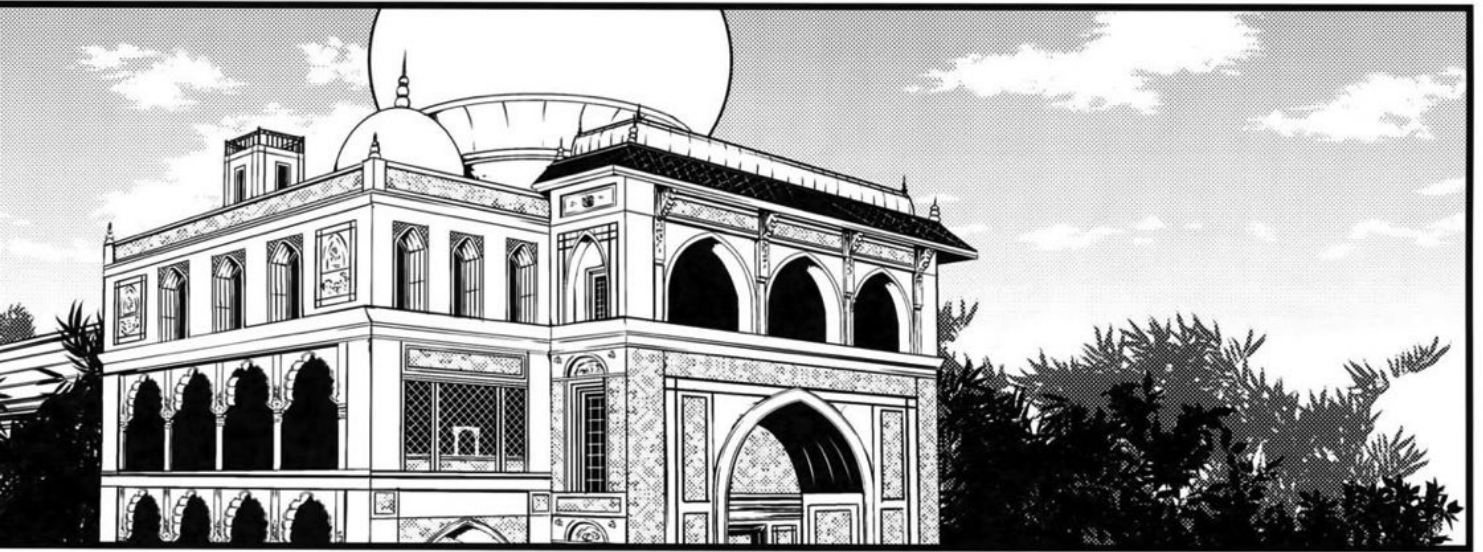


もっとよくやくやらねば



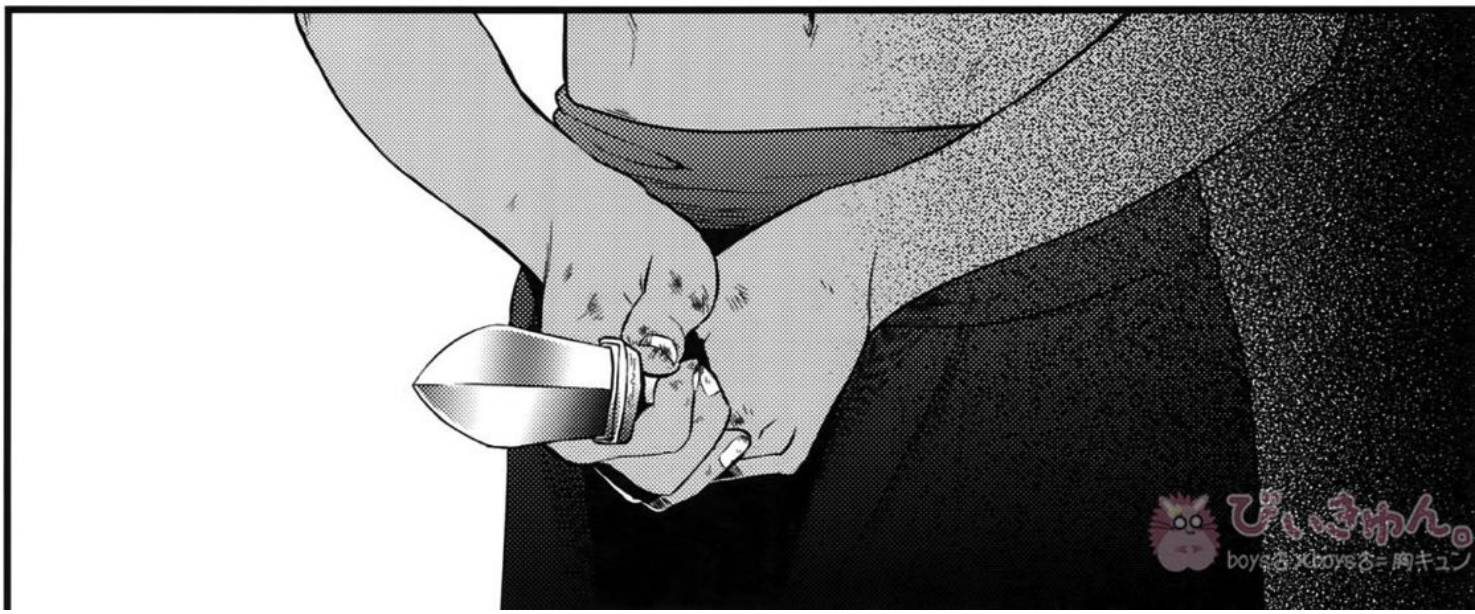
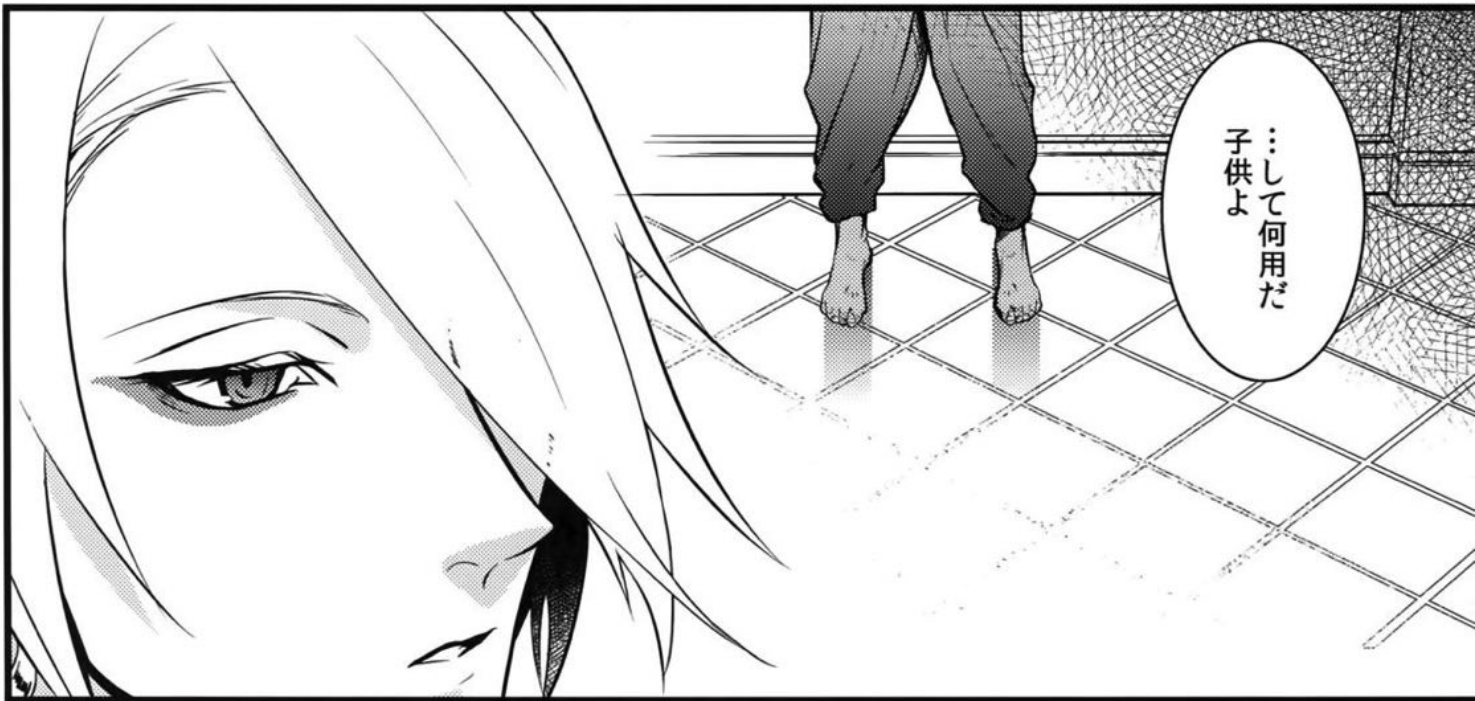
カルナに溺れている  
自覚はあったが…  
ボロを出してしまったか



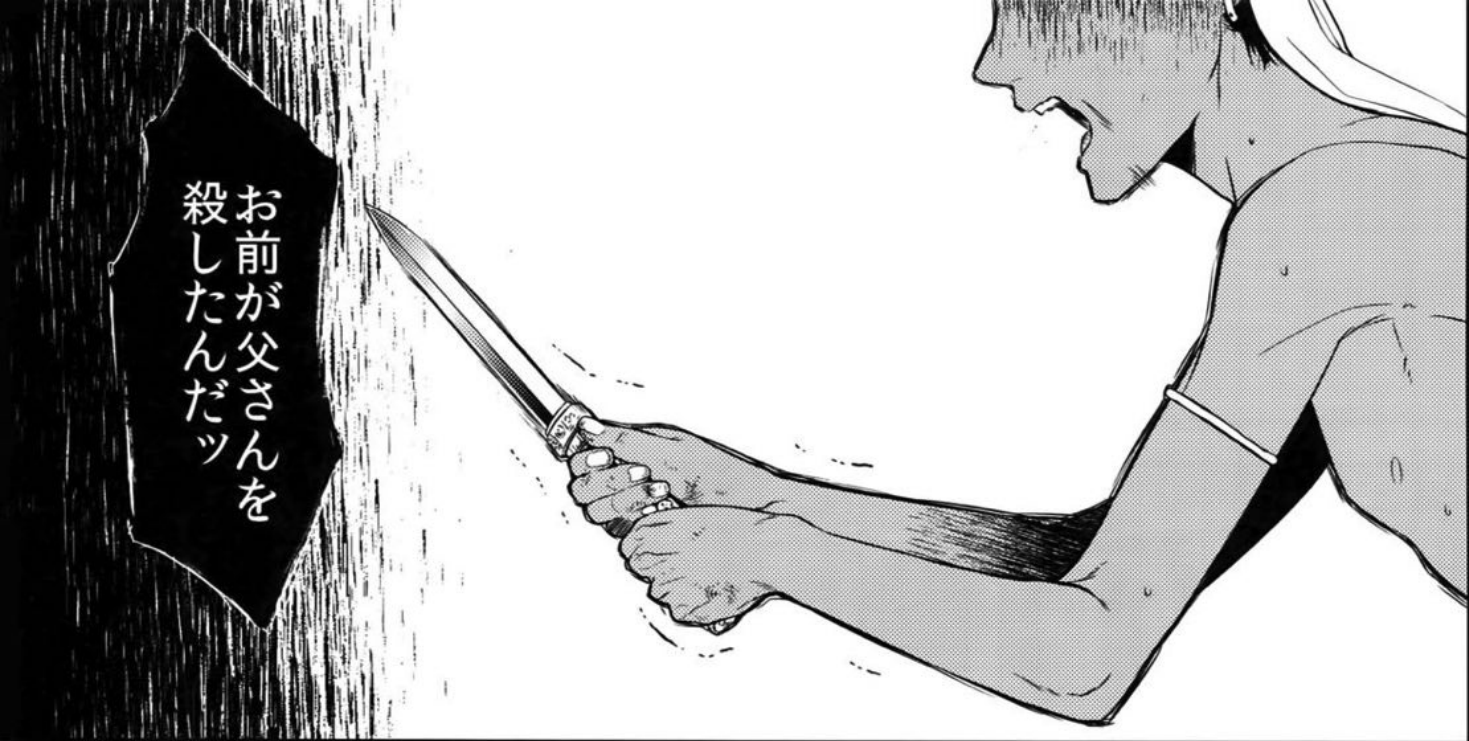


おびんちゃん。

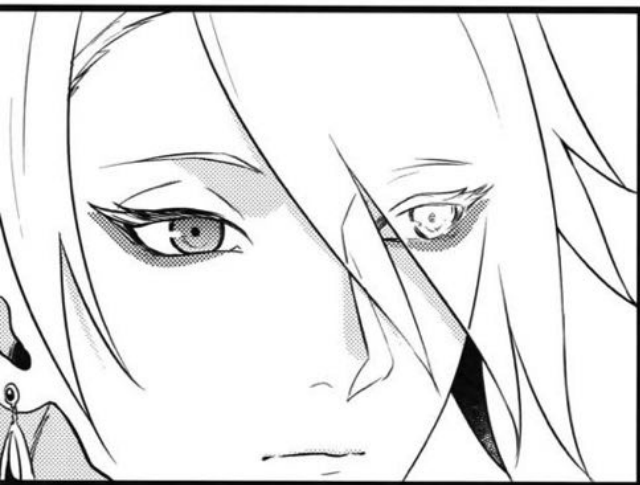








お前が父さんを  
殺したんだッ



アルジュナ

俺は安寧より  
戦士として生きたい



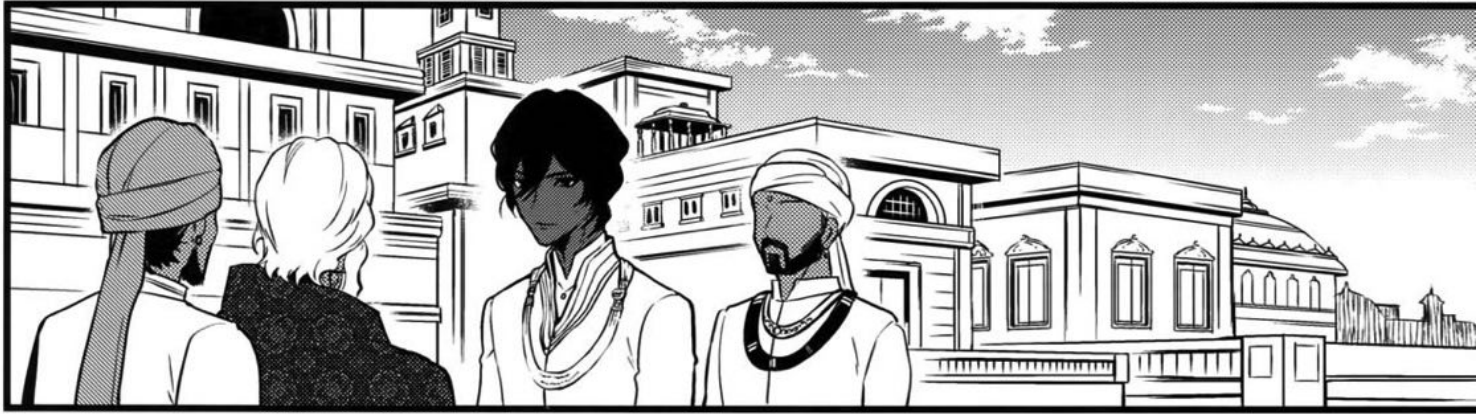
なるほど

殺すには十分な  
理由だな





今夜は特に予定が無い  
カルナの所へ行けるな



なんだなんだ？

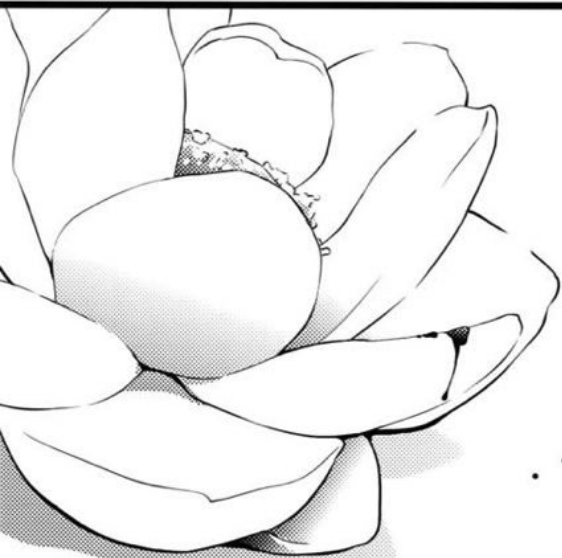
急にお天道様が  
かげつちまつた



変な天気だな



カルナ？





この物語はフィクション、及びファンによる二次創作です。  
オークションへの出品、転載、複製、データ化を禁じます。  
また、執筆者に無断でネットに転載した場合は掲載料を  
請求する場合があります。事前に申請してください。

#### PROHIBITIONS

- Unauthorized copying, reproduction and manufacturing of the contents ( texts & images ) of this book
- Uploading of the photographs and copies of the contents of this book to the Internet  
( You also cannot post them on Twitter )
- Resaling of this book  
( You also cannot put up this book for online auction )  
( Please dispose of this book when it becomes unnecessary ! )

fgoFANBOOK:02  
2018/5/3

スワイガニジャマイカ/kani  
Pixiv:17403  
kaniranbu@gmail.com





20150503 zivai3anijamaica  
Late Grand Order : fairbook02